

# 防 災 係

## 1 災害対策

### (1) 訓練

#### ア 福生市総合防災訓練

日 時 平成 21 年 8 月 29 日(土) 災害対策本部訓練 午前 8 時 30 分～正午  
各訓練会場 午前 9 時 00 分～正午

目 的 大規模な地震が発生したとの想定による、市民の迅速な避難、関係機関との連携及び自主防災組織の行動力の向上を図った。また、本会場では自衛隊による炊出し訓練を、各避難所では平成 20 年度にデジタル化した防災行政無線の通信訓練を新たに実施した。

場 所 災害対策本部 福生市役所 (100 人)  
第 1 訓練会場 福生第一小学校 (421 人)  
第 2 訓練会場 福生第二小学校 (273 人)  
第 3 訓練会場 福生第三小学校 (215 人)  
第 4 訓練会場 福生第五小学校 (126 人)  
第 5 訓練会場 福生第七小学校 (169 人)  
第 6 訓練会場 福生第二中学校 (164 人)  
福生市災害ボランティアセンター 福生市福祉センター (63 人)  
(ふっさボランティア・市民活動センター)

( ) 内は各訓練会場参加者数

参加機関 福生市 福生市消防団 福生消防署 福生警察署 陸上自衛隊 福生市交通安全推進委員会 福生消防署防災女性の会 (株)NTT東日本 - 東京西 武陽ガス(株) 福生アマチュア無線クラブ 福生 LPG 協会 災害時支援ボランティア ふっさボランティア・市民活動センター 市内自主防災組織 福生市医師会 公立福生病院 西多摩接骨師会福生支部 (東京都柔道接骨師会西多摩支部福生地区)

参加者数 1,531 人

#### イ 起震車体験訓練

目 的 人工地震の揺れのなかでの出火防止、避難路確保等の実践体験を通じて防災行動力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、自主防災組織(町会)、学校、事業所等で福生消防署の協力により、初期消火訓練、応急救護訓練等と併せて行った。

運用回数 11 回 (平日 5 回 土・日曜日 6 回)

運用先 自主防災組織 5 回 学校等 4 回 事業所等 2 回

体験者数 2,436 人

### (2) 災害対策事業

#### ア 防災啓発活動

##### (ア) 自主防災リーダー講習会及び救命講習会

講習日 平成 21 年 6 月 27 日(土) 午前 9 時 00 分～午後 3 時 45 分

場 所 福生市役所

受講者数 52 人

##### (イ) ふっさ防災展

開催日 平成 22 年 1 月 15 日(金)・16 日(土)

場 所 福生市プチギャラリー

- 内 容
- ・「福生市の防災」  
福生市の防災訓練、備蓄品と備蓄食糧、避難場所について
  - ・「自分の身を守る」  
住宅用火災警報器、福生市家具転倒防止器具支給事業、消火器の点検・廃棄方法
  - ・「特設コーナー」  
福生市消防団の活躍・団員募集、福生市社会福祉協議会  
(ボランティアセンターパネル展示)  
応急救護指導・AED体験コーナー  
子ども用防火服試着コーナー

コーナーごとに、パネル・実物の展示、ならびにパンフレットの配布を実施。また、ビデオ上映も行った。

入場者にはアルファ米と消防署作成のポケットティッシュ1袋に加え、大人には展示解説シートを、子どもには消防署で用意した風船を持ち帰ってもらった。

見学者数 213人

(ウ) 自主防災組織による災害体験学習

月日	自主防災組織名	学習場所	参加者数(人)
6.27	福生団地地区	茨城県県南総合防災センター	38
9.13	本町第一地区	前橋市防災センター	16
9.17	富士見台地区	神奈川県総合防災センター	31
9.26	本町第二地区	四谷消防博物館	30
9.27	熊川牛浜地区	山梨県甲府市	111
10.3	南田園二丁目地区	四谷消防博物館	20
10.4	鍋ヶ谷戸第一地区	横須賀市民防災センター	32
10.18	志茂第一地区	横浜市民防災センター	53
10.18	永田地区	横浜市民防災センター	24
10.25	本町第三地区	立川防災館	28
11.1	本町第六地区	埼玉西部防災センター	42
11.14	南地区	山梨県立防災安全センター	30
11.23	本町第八第一地区	前橋市防災センター	40
11.28	武蔵野台一丁目地区	立川防災館	40
11.29	牛浜第二地区	多摩六都科学館	68
22.1.23	福栄地区	立川防災館	33
1.24	鍋ヶ谷戸第二地区	埼玉県防災学習センター	40
2.7	内出地区	新潟県刈羽村原子力施設	13
2.7	加美第一、加美第二地区	本所防災館	30
2.13	長沢地区	立川防災館	27
2.14	玉川台地区	本所防災館	26
2.20	原ヶ谷戸地区	静岡県地震防災センター	45
2.21	武蔵野地区	四谷消防博物館	32
2.28	志茂第二地区	四谷消防博物館	30
3.6	加美平団地地区	立川防災館	37
3.21	本町第七地区	立川防災館	39
合計	27地区		955

## (エ) 自主防災訓練の実施

自主防災組織名	参加者数(人)	自主防災組織名	参加者数(人)
福生熊川住宅地区	97	志茂第一地区	6
南地区	15	志茂第二地区	11
内出地区	175	本町第一地区	6
武蔵野地区	64	本町第二地区	14
福東地区	54	本町第三地区	56
鍋ヶ谷戸第一地区	21	本町中央地区	50
鍋ヶ谷戸第二地区	20	本町第六地区	13
玉川台地区	93	本町第七地区	126
富士見台地区	40	本町第八第一地区	195
福栄地区	33	本町第八第二地区	20
熊川牛浜地区	80	武蔵野台一丁目地区	20
福生団地地区	四地区合同 138	加美平団地地区	174
南田園一丁目地区		永田地区	92
南田園二丁目地区		長沢地区	58
南田園三丁目地区		加美第一地区	二地区合同 542
牛浜第一地区	加美第二地区		
原ヶ谷戸地区	108	合計(33地区)	2,446

## イ 各自主防災倉庫配備品

品名	各数量	品名	各数量
毛布	15枚	投光機	1台
ポリタンク	1個	三脚(投光機用)	1台
応急救護セット	1セット	発電機	1台
骨折セット	1セット	ガソリン携行缶	1個
救急箱	1セット	ロープ(15m)	1巻
担架	4台	三角バケツ	10個
テント	1張	のこぎり	1本
ヘルメット	45個	オイルパン	2個
ハンドマイク	2台	メガホン (トランジスター型1台)	5個
移動式炊飯器	1台	のぼり旗	2本
防水シート	10枚	リヤカー (折りたたみ式2台)	3台
スコップ	5本	バール	1本
コードリール	1巻	ラジオ付ライト	3個
強力ライト	3個	チェンソー	1台
ハンマー	3本	災害救助工具セット	2セット
つるはし	1本	軽可搬式消防ポンプ	1台
一輪車	1台		

内出地区、武蔵野地区、福東地区、熊川牛浜地区、牛浜第一地区、  
原ヶ谷戸地区、志茂第二地区、本町第七地区、本町第八第一地区、  
本町第八第二地区、永田地区、長沢地区、加美第二地区 計13地区

- ウ 応急対策資器材・物資整備計画  
 応急食糧として乾パン等のランニングストックを継続実施した。
- エ 初期消火体制強化計画  
 街頭設置消火器及び格納箱の新旧取替えを実施した。

## 2 消防活動

### (1) 常備消防(福生消防署)

福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員179名の署員と消防ポンプ車5台、非常用ポンプ車2台、化学車1台、はしご車1台、救急車3台、非常用救急車1台、指揮隊車1台、査察広報車4台及び人員輸送車1台からなる陣容で予防行政の執行、災害活動等に従事している。

出場状況(管轄区域) (単位:件)

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
68	20	0	6,935	356	97	71	7,538	7,410

### (2) 非常備消防(福生市消防団)

市内にある5個分団からなる消防団組織(団員186人。消防ポンプ車5台及び指揮車1台を保有)により、消防活動を実施している。

#### ア 消防団組織

団 長    副団長 (1人) (4人)  本部付団員 (6人)	}	第一分団長    副分団長    部 長    班 長    団 員 (1人)        (2人)        (3人)        (9人)        (20人)
		第二分団長    副分団長    部 長    班 長    団 員 (1人)        (2人)        (3人)        (9人)        (20人)
		第三分団長    副分団長    部 長    班 長    団 員 (1人)        (2人)        (3人)        (9人)        (20人)
		第四分団長    副分団長    部 長    班 長    団 員 (1人)        (2人)        (3人)        (9人)        (20人)
		第五分団長    副分団長    部 長    班 長    団 員 (1人)        (2人)        (3人)        (9人)        (20人)

#### イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車 両 の 種 類	車両購入年月日
団本部	八王子800さ6574	普通自動車「ワゴンタイプ」(ニッサン)	平成15年9月
第一分団	八王子88す659	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成10年11月
第二分団	八王子88さ8964	"	平成9年10月
第三分団	八王子830さ2303	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成11年11月
第四分団	八王子88さ8169	普通消防ポンプ自動車(ヒノ)	平成9年3月
第五分団	八王子830さ2305	普通消防ポンプ自動車(ミツビシ)	平成12年12月

#### ウ 年齢別団員数

(単位:人)

年 齢 団員数	18~20歳	21~25歳	26~30歳	31~35歳	36~40歳	41~45歳	46~50歳	51歳以上
186	0	38	49	35	44	17	3	0

工 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
186	63	40	49	23	9	2	0

才 退団・入団員数

(単位：人)

区 分	平成21年4月1日現在	退団者	入団者	階級異動	平成22年4月1日現在
本 部	5	1		1	5
本部付団員	6	1	1		6
第一分団	35	5	4		34
第二分団	35	7	7		35
第三分団	35	7	8	1	35
第四分団	35	6	6		35
第五分団	35	5	5		35
合 計	186	32	31	0	185

力 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出 動 回 数(件)	延べ出動団員数(人)	平均出動団員数(人)
28	19	2,353	123.8

キ 消防団出動状況(風水害等)

延べ出動団員数(人)	出 動 回 数(回)
0	0

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
祭 礼 警 戒	129	2
七 夕 警 戒	387	4
歳 末 警 戒	317	5
そ の 他 の 警 戒	103	4
合 計	936	15
前 年 度 合 計	1,099	17

ケ 消防団各種訓練(消防)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
火 災 防 御 訓 練	318	5
ポ ン プ 操 法 訓 練	5,857	98
機 関 訓 練	1,598	55
規 律 ・ 礼 式 訓 練	355	3
教 育 訓 練	493	8
住 民 指 導	117	5
合 計	8,738	174
前 年 度 合 計	7,583	117

コ 消防団各種訓練（災害）

訓練名	延べ出動団員数（人）	出動回数（回）
教育訓練	65	3
住民指導	349	8
合計	414	11
前年度合計	493	14

サ ポンプ操法審査会（第 57 回）

審査会は、消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動の迅速かつ確実な実施及び火災による生命・財産の損害の防止を目的とし、ホースカーによるホース延長操法及び手びろめによる延長操法を隔年で実施している。

平成 21 年度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第三分団	第二分団	第五分団
チーム成績	第三分団 B	第五分団 B	第二分団 B

前 年 度	ホースカーによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第三分団	第四分団	第一分団
チーム成績	第四分団 B	第三分団 B	第三分団 A

（ 3 ） 火災の状況

ア 月別火災発生件数

区分 月	建 物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	焼失面積 (㎡)	非火災 (件)	消防団 出動回数 (回)
	全焼 (件)	半焼 (件)	ぼや (件)						
4			1			1	0	4	3
5					1	1	0	0	0
6			1	1		2	0	0	1
7		1	1		2	4	30 (8)	0	2
8		1	3		1	5	2 (10)	2	3
9			1		1	2	0	2	2
10			1		1	2	0	0	1
11					1	1	0	0	0
12	1					1	10 (8)	0	1
22 年 1		1	1	1		3	94 (26)	1	2
2			3		1	4	0	1	1
3	1	1				2	85 (48)	1	3
合 計	2	4	12	2	8	28	221 (100)	11	19
前年度 合計	2	2	16	0	16	36	266 (7)	13	25

半焼は、部分焼を含む。焼失面積の（ ）内は、表面積

## イ 原因別火災件数

(単位：件)

原因		放火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
件数	平成21年度	12	6	0	2	2	6	28
	前年度	19	5	2	4	1	5	36

## (4) 消防水利施設

## ア 水利

(単位：基、箇所)

消火栓		合計	防火水槽			貯水槽		合計	プール
150mm未満	150mm以上		20 m <sup>3</sup> 未満	20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未満	40 m <sup>3</sup> 以上 60 m <sup>3</sup> 未満	60 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup> 未満	100 m <sup>3</sup> 以上		
463	157	620	36 (0)	6 (0)	98 (88)	18 (18)	22 (22)	180 (128)	17

( )は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

## イ 消火栓新設箇所

(単位：mm)

番号	設置箇所	口径	備考
1	大字福生 1185 番地先	100 × 75	地下式単口
2	南田園三丁目 4 番地先	〃	〃
合計	2 箇所		

## ウ 消火栓移設箇所

(単位：mm)

番号	設置箇所	新口径	旧口径	備考
1	本町 64 番地先	150 × 75	100 × 75	地下式単口 地下式単口
2	本町 66 番地先	150 × 75	150 × 75	地下式単口 地下式単口
3	本町 86 番地先	300 × 75	150 × 75	地下式双口 地下式単口
合計	3 箇所			